

第255回 教育研究評議会議事要録

日 時 令和7年12月24日（水）10時00分～10時30分
場 所 甲府キャンパス大学本部棟第1会議室

出席者

（評議員） 中村学長、黒澤・奥田・茅・高見・市川・木内・小林 各理事
岩崎副学長、長谷川・小泉・中山・岸上 各学域長、服部附属図書館長
清水・木島・宇賀・小林・郷・武井・大山・島・川村 各教授
（列席者） 井上学長補佐、小俣・數野 各監事
志村・石原 各副理事、雨宮・齊藤・斎藤・赤石・加勢・望月・京嶌 各部長
永倉・植村・千野・藤田・大坂・笹原・伊藤・四氏 各課長

議事要録確認

第254回教育研究評議会（R7.11.25開催）議事要録を確認した。

報告事項

- 1 令和8年度特別選抜（学校推薦型選抜及び総合型選抜）志願状況について
奥田理事から、資料1により、標記志願状況について報告があった。
なお、中村学長から、将来の少子化を見据えて、各学域では長期的な視点から入試改革（選抜方法）などを検討していただきたい旨の発言があった。
- 2 大学入学共通テスト実施日における駐車場について
奥田理事から、資料2により、標記テスト実施日における駐車場の運用について報告があった。
- 3 公的研究費の適正な管理・執行について
市川理事から、資料3により、公的研究費の適正な管理・執行について報告があった。
なお、中村学長から、各学域やセンターなど附属施設の会議において説明するなど、適正な管理・執行を徹底していただきたい旨の依頼があった。
- 4 大学運営に係る執行部と学域との意見交換会の実施結果等について
黒澤理事から、資料4により、各学域の喫緊の課題等に対し、執行部と各学域が共通理解を持って取り組むために行った標記意見交換会の結果や今後の対応等について報告があった。
なお、中村学長から、時間をかけて実施した意見交換であることから、課題解決に向け、学域等でもしっかりと対応いただきたい旨の発言があった。
- 5 ステークホルダーミーティングの実施結果等について
黒澤理事から、資料5により、本学の内部質保証の確保を目的とし、「中期目標大綱」や「学長ビジョン」に対応していくために行った標記ミーティングの実施結果等について報告があった。
なお、中村学長から、昨年度から学外での開催としていること、学外構成員から標記ミーティングに対して好評を得ているなどの説明があった。

6 教員の採用報告について

高見理事から、資料6により、教員の採用（2名）及び昇任（2名）を行ったことについて報告があった。

7 令和7年度上半期電気・ガス使用量及び使用金額について

市川理事から、資料7により、標記使用量及び使用金額について報告があった。

審議事項

1 令和8年度山梨大学・読売新聞甲府支局共催 連続市民講座（案）について

奥田理事から、資料8により、本学教員が取り組んでいる様々な研究を地域社会に広く伝えるため、読売新聞甲府支局と共催して実施している標記講座について、令和8年度の実施要項及び講演者の説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、中村学長から、標記講座や、令和7年度から山梨日日新聞社・山梨放送との共催で開催している特別公開講座を通して、本学の認知度を上げていきたい旨の発言があった。

2 大学間協定の締結（案）について

茅理事から、資料9により、デ・ラ・サール大学（フィリピン）およびO.P. ジンダル・グローバル大学（インド）それぞれと新たに包括的な交流協定を締結し、またノーザン・アイオワ大学（米国）との包括的な交流協定を更新する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 山中湖村との包括的連携協定の締結（案）について

市川理事から、資料10により、山中湖村と地域への貢献を使命とする本学が、豊かで活力ある地域社会の形成と地域の振興を図り、相互の発展を目指すことを目的とし、本協定を締結する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 大学管理スペースの使用許可（案）について

市川理事から、資料11により、標記使用許可（5件）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

その他

・ 甲府東キャンパスでの倒木事故について

市川理事から、資料12により、令和7年11月28日（金）に発生したB1号館北側駐車場の倒木事故の概要と対応状況について報告があった。併せて、倒木の危険性のある樹木には注意喚起の張り紙を行ったことや、令和8年1月末までに全キャンパスの樹木伐採等業務が完了予定であることの補足説明があった。

なお、中村学長から、各学域や附属施設等においても倒木について広く注意喚起をしていただきたい旨の発言があった。

※ 次回は、令和8年1月27日（火）15時00分から開催することを確認した。